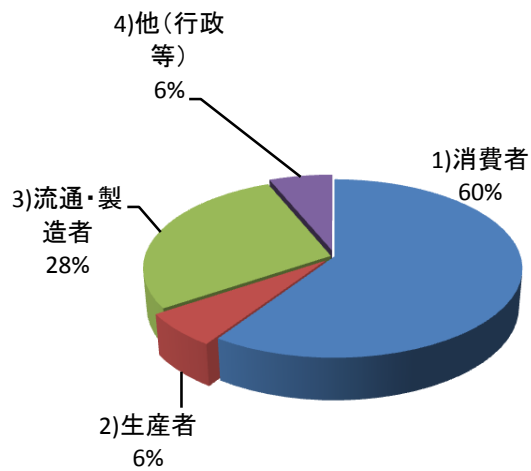


食の安全・安心意見交換会(中部地区)

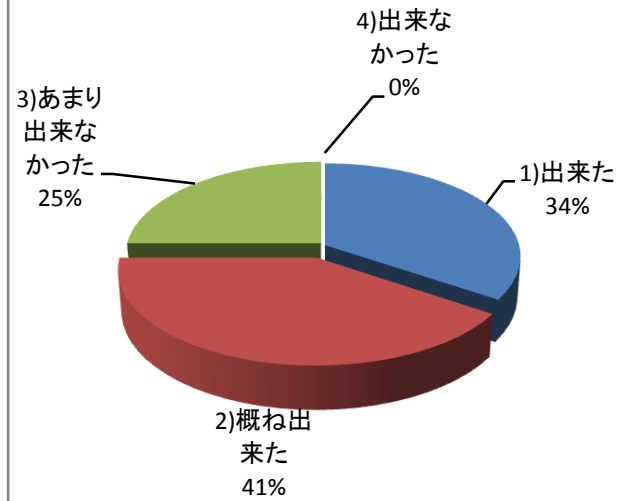
参加者アンケート結果

回答数 32人/61人

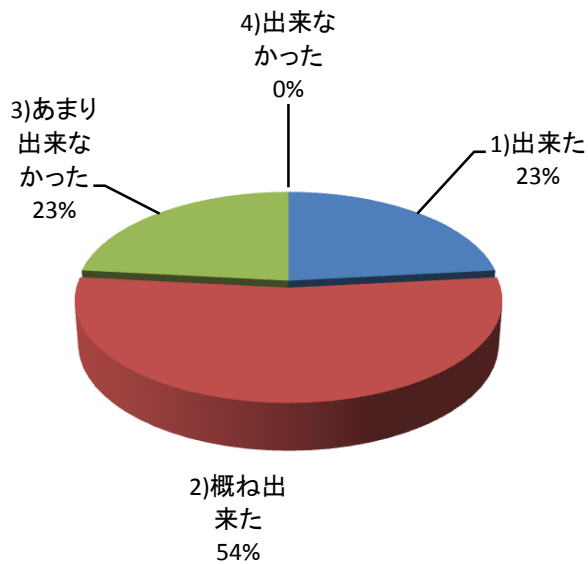
Q1 記入者の所属



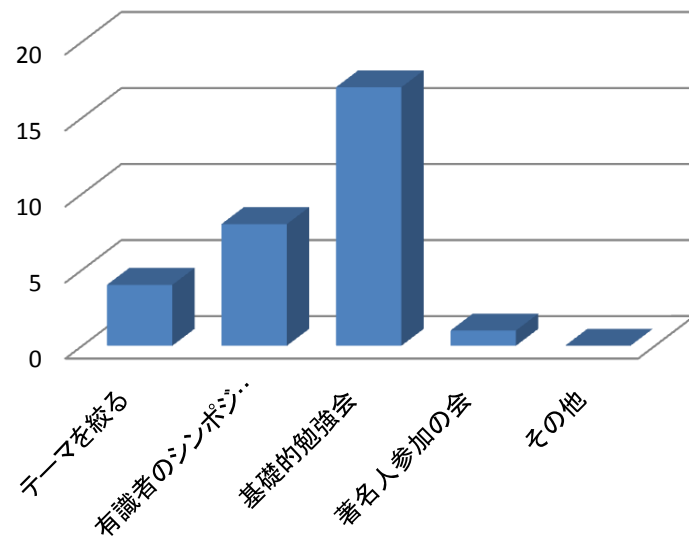
Q2 意見交換会の内容について、理解することができましたか



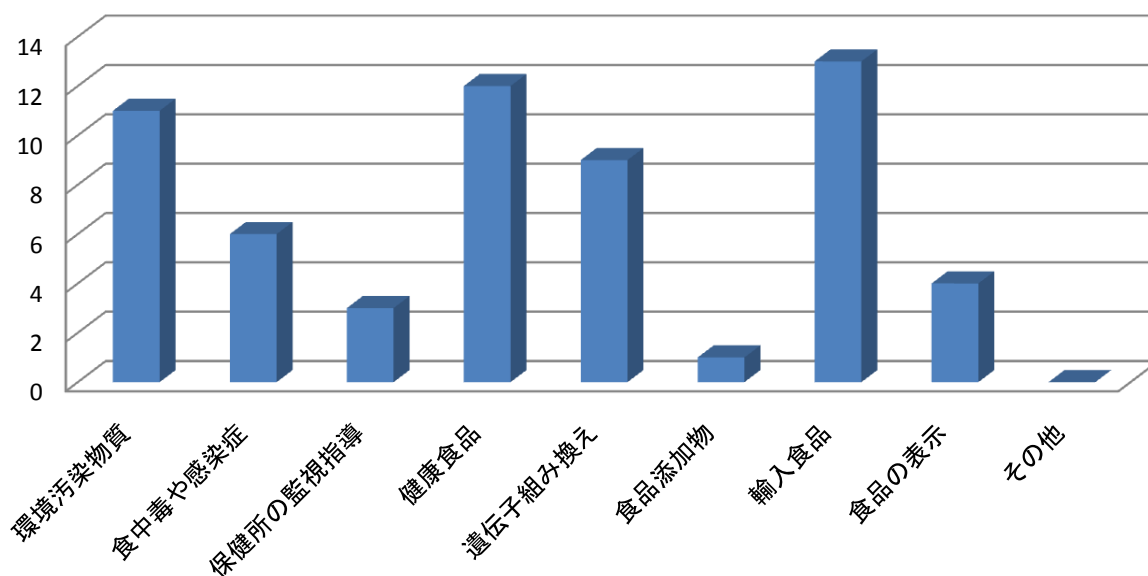
Q3 意見交換会の満足度



Q4 意見交換会で取り組むべきこと(複数回答)



Q5 今後、取り上げて欲しいトピックについて(複数回答)



Q6 意見交換会の進め方について

1)よかった点

消費者	・後半の意見交換時のコーディネーターの方の進め方が分かりやすかったです。(内容、意見をかみくだいて話して下さっていたので)
	・事前に質問をまとめていて、テーマごとに意見解答というかんじで分かりやすかったです。いろんな立場から意見が聞けて解答もしていただいたので良かったです。
	・日頃食品購入時添加物表示については、目を通してはいるつもりであった。ある程度体に取りすぎなければ良いと多少安心しました。
	・添加物すべてが悪いのではない、と理解出来た。卵とかソバのアレルギーのある子供を持つ母が表示をみて買う、それは良いと思う。
	・食品は添加物なしでは出来ないと…余りにも添加物を気にしていたことが「安心できた」に変わりました。
	・最初に質問などを受けていたのはじまりだったので、スムーズにいき良かった。皆勉強している。
	・食品添加物について良い勉強が出来た。(認識を新たに)
	・時間の無駄なく進行して多くの質疑応答が出来て良かったと思いました。
	・前もってアンケートを提出し意見交換は良かった。コーディネーター様ご苦労様でした。
	・添加物について怖いというだけでないと少し分かった。量や様々のリスクについて考えられている事。
	・添加物の定義は幅広いということは、わかった。
・事前にアンケートをとっていたのが、良かったです。	
生産者	・少しでも添加物のあり方についてわかってもらえたのではないかと
流通・製造者	・事前に意見の集約をしていた点は、進行上もスムーズになるのでよかったです。
	・消費者の生の声を聞くことが出来たので大変良かった。
	・消費者の意識がよく分かった。
その他	・とても良い会でした。理解出来ました。今まで以上に何でも頂きます。おやおやと思うのは、使いません。

2)改善すべき点

消費者	・添加物について学習する場があること。
	・質問提示した方だけの意見を取り上げていたので、総合的に意見をもとめるのも良かったのでは。
	・一応質問をもらったものに対するの応答であった。もう少し生の声、質問を聞く時間があっても良かったのでは？私も時間があればお聞きすることがあった。
	・マイクがひびいて少し聞きにくかった。(アドバイザーの方の話)
	・最後の質問に対して、有効利用するために添加物を加えてるのだから、安いから悪いというわけではないという話には疑問を感じた。
生産者	・もっと基礎的な所からの方がいいかな。
流通・製造者	・いきなりの指名は心の準備ができません。消費者の方もそう発言してましたし、会議の始まる前などに、事前に発言予定の方々には、お知らせして下さると頭の中で整理ができると思います。難しいでしょうか？(事前に言うと断られるからでしょうか？)
	・消費者が納得していただくように、もう少し詳しく意見交換があっても良かったのでは？
	・食品安全は添加物だけではなく、輸入食品の農薬等について考えるべきです。
その他	・質疑の時間を30分くらいとって欲しかった。

Q7 その他意見

<p>消費者</p>	<p>・若い消費者の方にきてもらおうとお誘いしたのですが、子どもが小さい方は、午前中の時間の方が動きやすいです。子どもがいると食について色々勉強する機会が欲しいと思っている方は多いと思うので、午前の時間で、託児のある講演等をやっていただけたらと思いました。 話の内容は難しかったです。たとえば実際にある食品を持ってきて、その中の表示にある添加物が何のために必要なのか、等を教えてもらえる勉強会等があるとおもしろいかな…と思いました。(いくつかの商品を並べたり等)</p> <p>・生きている以上食との関わりは、不可欠なものとして今後も若い奥様(私も娘を持つ母親として)方にも、添加物について又食の安全性についてPTA等で取り組んで欲しいと思いました。孫を持つ身として出来るだけ帰ってきた時は手作り小さな気持ちを大切にしようと思いました。ありがとうございました。</p> <p>・皆活発な意見が出て良かった。もっと勉強してこなければと思ひ反省しています。</p> <p>・消費者に広める(内容)をためにどうすればよいか考えて欲しい。</p> <p>・食品表示の見方、買う時どういう点に注意したらよいかの話を知りたかった。</p> <p>・実際の添加物について、効果と不安な点など具体的に知りたかったです。</p> <p>・一消費者として、食品を選ぶ時「少しでも安全な食品」を選びたいので、できるだけ安全性の確かでないものは、添加していない商品を手に入れる事ができるグリーンコープでほとんどの食品を購入します。(これから)</p> <p>・数や量をこなす為に、添加物を入れているとしか思えない気がしました。地場産地産地消になれば、添加物は不要だと思います。不特定多数の消費者に、しかも各地方、他県まで流通させようとするから、日持ちするように、腐らないように…と添加物を入れるのではないかと。外国からの輸入が多いのも原因の一つではないだろうか。日本の生産者が安定して物を作れるような日本になればよいと思う。</p>
<p>流通・製造者</p>	<p>・思っていたことの半分も報告発言できなかったのが、少し書かせてフォローさせていただきます。添加物に対する大かたの受け止め方は、別府のグループの若いお母さん方も「どの添加物に害があるの?」「何に気をつけたらいいの?」という「添加物=悪者」のイメージでした。食べ物には、すべてリスクがあり、100%安全なものはない。添加物も同じ考え方で、リスクは非常に少ない…というリスクという受け止め方を基本にした考え方の理解は、なかなか浸透しにくいです。その原因のひとつに、マスコミやトンデモ本(安部司著のベストセラー)などの影響力が大きいということです。佐仲先生には、会場から出されていた質問の中に、この本からの引用で質問していた方がいたと思いますが、その際にもっと強く「こういう本は、根拠がなく事実をねじまげているとんでもない内容」というぐらいの強い批判をしていただきたかったのですが…わりとソフトに答えられていたような気がします。一般消費者は、マスコミやこのような本の情報で、科学的な見方ができない混乱と不安をかきたてられた状況にあると思います。もっと確かな客観的で冷静な立場からの情報がたくさん出されないと困ります。行政の役割は、そういう意味で大きいと思います。マスコミがまちがった情報を流したときは、すぐ反論し訂正する。もっとたくさんリスコミで正しい認識を共有化していく努力をしていただきたい。生協(私たち)も、対象は限られますが、組合員という消費者に向けて正しい情報を学習の機会やリスコミの場を持っていく努力を今度も続けていきたいと考えています。(まじめにがんばっているメーカーさんのためにも)ちなみに、別府のグループ学習会の資料には、協会のパンフレット(当日配布されていた冊子の方)を活用させていただきました。この資料は、協会のホームページでダウンロードできるようになってますし、無料配布もおこなっているようですので、今後も利用させて頂こうかなと思います。本日は、よい勉強の機会を与えて頂き、ありがとうございました。</p> <p>・「食品添加物」についてまだまだ悪いイメージがあるので無くすような情報を消費者に向けて発信を行って欲しい。(減らしていくような)</p>
<p>その他</p>	<p>・講師の方のアドバイザーのマイクが悪いため聞き取りにくかった。</p> <p>・今日は、食に関する基礎的な知識を学ばせていただきありがとうございました。この中で私自身不安を抱いていた点など、理解できました。それは、リスク評価において、日本は大変高いという事で安心しました。国のリスク評価も全世界が同じようになると思います。</p>